

2024年度(第21回) 化学史研修講演会

主催：化学史学会

後援：公益社団法人日本化学会、日本基礎化学教育学会、日本理化学協会、東京都理化教育研究会

日時：2024年8月17日(土) 午後1時～5時(最大)

会場：一橋大学一橋講堂 <https://www.hit-u.ac.jp/hall/>

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター会議室

地下鉄：神保町駅から徒歩4分、竹橋駅から徒歩4分

オンライン同時配信予定

プログラム：13:00 開場

<講演1> 13:15～14:45

齊藤 幸一氏 (元開成学園教諭、日本化学会フェロー)



「中等教育の現場から見た化学教育の変遷史」

中等教育で扱われる化学の内容は、学習指導要領によって大きく変化する。教師は、学習指導要領が具現化された教科書をもとにして様々な工夫を施し、授業を作り上げる。長きにわたる筆者の授業実践と学会活動などから見てくる化学教育の変遷を語り部の一人として紹介する。

休憩

<講演2> 15:00～16:30

橋本 毅彦氏 (東京大学名誉教授)



「図像科学史へのアプローチ」

近年、科学の歴史における各種の視覚表現(図像)の利用や制作に関する研究が多く発表されている。本講演では、それらの研究成果を紹介するとともに、各種図像の制作と利用について、異なる分野・時代における事例を取り上げて、どのような科学的な分析がなされるのか解説することにした。

参加費：無料。参加登録が必要です。下記 学会ホームページより登録を

資料資料代：1000円 発送手数料 300円(合計1300円) 振り込みの方に予め送付

なお、参加登録者は開催当日無料で資料(pdf版)のダウンロードが可能です

また、研修講演会の修了証が必要な方は、参加申込の際にお知らせ下さい

参加申込締切：2024年7月22日(月) 締切り後も参加申込み(および冊子資料購入)は受け付けますが、冊子資料の印刷・事前送付がありますので、お早目をお願いします

詳しい内容は 学会ホームページ <https://kagakushi.org/> に掲載します

問合先 〒514-8507

三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学全学共通教育センター 和田正法研究室内 化学史学会事務局